

2011年(平成23年)6月28日 (火曜日)

死後生殖の 現状を報告

岡山大

30日、セミナー

親の死後、凍結精子
で子が生まれる死後生
殖について、岡山大
学院の中塚幹也教授ら
が30日午後1時から、

岡山市北区の同大医学
部臨床第1講義室で公
開セミナーを開く。

国内では亡き父親が
生前凍結した精子で妻
が体外受精をし、20
01～04年に4人の子
が生まれたという。産
科婦人科学会は死後生
殖を禁じる倫理指針を
出しているが、法律は
禁じておらず、栗屋剛
・同大大学院教授(生

命倫理)らの大学生へ
の意識調査では62%が
容認している。

最近では精子凍結だけ
でなくがん治療で卵子
凍結の研究も進んでい
るため、中塚教授は「将
来、卵子で死後生殖が
起きる可能性がある」と
指摘。今年から3年
間、国内で初めて死後
生殖について本格的な
意識調査を行う。

セミナーはこの研究
の一環。中塚教授ら4
人が死後生殖の背景や
現状を報告する。